

# ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：32

問題あり：7件

要確認：3件

問題なし：22件

## 詳細な検証結果

### 1. 固有名詞

#### 所属政党

記載内容：「日本維新の会所属」

検証結果：✓正確（2025年6月時点）

根拠・出典：2024年10月3日、前原代表や嘉田ら教育無償化を実現する会の4議員が日本維新の会に合流することが発表された

#### 政党遍歴の記載

記載内容：記事内で政党の変遷について記述が不明確

検証結果：△要確認

正しい情報：2019年初当選時は無所属（野党統一候補）→2023年6月国民民主党入党→2023年11月国民民主党離党・教育無償化を実現する会結成→2024年10月日本維新の会合流

根拠・出典：複数の検索結果から確認

#### 名前の漢字表記

記載内容：「嘉田由紀子」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式プロフィール

#### 学歴

記載内容：「熊谷女子高校、京都大学農学部・大学院博士課程（博士）を修了し、米ウィスコンシン大学大学院で修士を取得」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式プロフィールで確認

### 2. 数値情報

#### 生年月日

記載内容：「1950年5月18日生まれ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式プロフィール

#### 滋賀県知事任期

記載内容：「滋賀県知事（2006-2014年）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2006年初当選、2010年再選、2014年勇退

### 参議院初当選年

記載内容：「2019年7月に参議院滋賀県選挙区から初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式情報で確認

### 選挙年の誤記

記載内容：「直近の選挙（2022年7月の滋賀県参院補選）」

検証結果：✗誤り

正しい情報：2022年7月10日は第26回参議院議員通常選挙であり、補欠選挙ではない。嘉田氏は2019年に初当選しており、2022年は改選対象外

根拠・出典：滋賀県選挙管理委員会の情報

## 3. その他の重要な事実関係

### 著書出版年の誤記

記載内容：「自身の2014年出版著書『命をつなぐ政治を求めて』」

検証結果：✗誤り

正しい情報：『命をつなぐ政治を求めて』は2019年6月20日に風媒社から出版

根拠・出典：Wikipedia等複数のソースで確認

### DVシェルター問題の時期

記載内容：「2021年5月のDV（ドメスティック・バイオレンス）関連の発言」

検証結果：△要確認

正しい情報：発言は2021年4月、報道は2021年5月

根拠・出典：報道記事で確認

### 立法活動の記述

記載内容：「2022年6月にインターネット上の誹謗中傷対策を目的とした刑法改正案を有田芳生・高良鉄美両議員（立憲民主党）と共同提出」

検証結果：△要確認

正しい情報：共同提出の詳細や嘉田氏の具体的な役割について、検索結果では十分に確認できず

### 委員会所属

記載内容：「参院法務・予算・災害対策特別各委員会に所属する（2025年6月時点）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式情報

### 議員連盟活動

記載内容：「共同養育支援議員連盟」の幹事

検証結果：✓正確（記事内の参考文献は実在）

### 選挙での支持政党

記載内容：「野党4党（立憲・国民・社民・共産）の統一候補として擁立」（2022年選挙として記載）

検証結果：✗誤り

正しい情報：これは2019年参院選での状況。2022年は嘉田氏の改選年ではない

### 不祥事記録

記載内容：DVシェルター問題以外に「不祥事なし」

検証結果：✓正確（検索範囲内では他の重大な不祥事は確認されず）

# 改善提案

---

## 修正が必要な箇所の一覧

### 1. 重要な誤り：

- 「2022年7月の滋賀県参院補選」 → 「2019年7月の参院選で初当選」
- 「2014年出版著書『命をつなぐ政治を求めて』」 → 「2019年出版著書『命をつなぐ政治を求めて』」

### 2. 政党所属の変遷を正確に記述：

- 現在は日本維新の会所属だが、2019年初当選時は無所属、2023年6月～11月は国民民主党所属だった経緯を明記

### 3. 時系列の整理：

- DVシェルター問題の発生時期（2021年4月発言、5月報道）
- 選挙年と所属政党の関係を正確に記述

## 追加確認が推奨される情報

1. 共同提出法案の詳細な役割と成果
2. 議員連盟での具体的な活動内容
3. 党内部会での活動記録の詳細
4. SNSフォロワー数などの具体的な数値（記事内で「数千人規模」などと記載）

記事全体としては基本的な人物情報や経歴については正確ですが、選挙年の混同と出版年の誤記という重要な事実誤認があります。また、政党所属の変遷についてより正確な記述が必要です。